

頸北地区地域協議会委員合同研修会

俵木晴之（潟町）

令和2年10月24（土）午後1時30分から吉川体育館を会場に開催されました。頸北4地区の合同研修会で、持ち回り幹事で今年度は吉川区が担当でした。当大潟区からは委員と総合事務所の職員も含め15名が参加。研修会の内容は研修（講演）と情報交換の二本立てでした。吉川区地域協議会山岸晃一会長の挨拶後、研修ではお二方からご講演いただきました。

「講演

1 演題：「地域医療構想と地域包括ケア」上越・頸北地域を考える」

新潟県上越振興局健康福祉環境部 上越保健所 所長 山崎理氏

内容は自治医大卒業の9割は新潟県内に残留。2025年問題、2040年問題（病院・施設での働き手不足）、上越圏の人口減少要因、新しい形での住まいグループホーム等

2 演題：「地域作りのための柿崎病院の今後」と題し

新潟県立柿崎病院後援会 会長（新潟県議会議員） 榎井辰雄氏

内容は後援会の成り立ち及び柿崎・吉川・大潟区の後援会費の負担割合、上越市及び柿崎区の人口推移と柿崎区の高齢化率、柿崎病院の患者の状況、地域ネットワーク航空

「TOKI Air」の説明



「情報交換

1 各地域協議会の活動報告

2 活動報告に対する質疑応答

当協議会では君波会長から地域協議会、検討会の経緯についてグループ協議の内容、まちづくり大潟との連携、D&D「大潟の魅力発見」作成取り組み等が発表されました。各協議会から説明後、多くの質疑がありました。

最後に次年度幹事の柿崎区地域協議会吉井一寛会長の挨拶で閉会致しました。

放課後児童クラブを視察して

俵木晴之（潟町）

上越市の公共施設の適正配置計画により、「大潟児童館」が休止の方向になりました。大潟児童館は平成17年はまっご保育園の建設にあわせ児童の健全育成を目的に、放課後等にいつでも気軽に友達や親子で利用できる児童館と放課後児童クラブを併設した複合施設として整備されました。その後、児童館事業の担い手であったボランティア数の減少、児童数の減少に加え、児童の遊び方の変化などにより、児童館の利用者数は減少し、令和2年7月現在利用がありません。一方、核家族化や共働き家庭の増加に伴い、近年は放課後等の児童の安全な居場所として放課後児童クラブの利用が高くなってきております。

令和2年9月18日、地域協議会員6名で放課後児童クラブを視察してきました。教室は二室ありますが、密に近い状況の中、児童は各自自発的に学習、読書等に取り組んでいました。また、指導員の方々も児童には親切、やさしく対応されておられました。



放課後児童クラブは今後ますます利用者が増えるものと思われ、指導員の増員も必要でありますが、児童館の空きスペースを利用することにより三密を回避し、普段学校で接することのない子供達同士の間になるのではないかと考えられます。最後に視察した委員の感想として、①三密回避も含め空いているスペースの利用として、地域の方にも違う形での利用促進②指導員の増員も必要である③時代なのか提案されるだけあって「大潟児童館」の役割は終わったのか等が挙げられました。

新たな生活様式で過ごす知恵

五十嵐公子（潟町）

新型コロナウイルスの感染抑制のため国から「新しい生活様式」が示され、早数ヶ月、マスク、手洗い消毒に少しは慣れて来たところですが、まだ受け入れがたい社会全体の急速な変化と共に、外出自粛要請により、離れて過ごす家族や友達に直接会うことが出来ないうストレスに心と身体のバランスがくずれまいます。そのストレスにより体で大きく影響を受けるのは心だけでなく免疫力の低下につながります。そこで免疫力を下げない工夫として

- ① 体を温かく保つ（体温が1度下がる
と免疫力も下がる）
- ② バランスの良い食事（まごわやさしい
を实践）腸内環境を整える
- ③ 適度に体を動かしたり、マッサージで
リンパ液を循環

人間の体は年齢や健康状態に関係なく免疫力が上がるように出来ています。ストレスを感じない生活を送っていききたいです。

- ま・豆（大豆、あずきなどの豆類）
 ご・ゴマ（ゴマ、ナッツ、クルミなど）
 わ・わかめ（わかめ、昆布、のりなど）
 や・野菜（野菜、根菜）
 さ・魚（特に小魚）
 し・椎茸（椎茸、しめじなどのキノコ類）
 い・イモ（里芋、じゃがいも、さつまいもなどの芋類）

地域協議会の開催状況(令和2年7月～11月)

	開催日	内容
第4回	7月16日（木）	① 諮問案件における書面審議について（新型コロナウイルス感染防止対応） ② 審議依頼について（地域協議会委員による審議依頼書についての検討）
第5回	8月27日（木）	① 大潟児童館の今後の方向性について ② 自主審議に関わる提案について ③ 令和2年度大潟区地域支援事業の振り返り
第6回	9月24日（木）	① 「公の施設の再配置計画」の策定について ② 大潟町中学校屋外テニスコートの照明設備の廃止について ③ 鵜の浜人魚館の冬期間のプール休止について ④ 温浴・宿泊施設の再配置に向けた鵜の浜人魚館の現況について ⑤ 株式会社大潟地域活性化センターの経営状況について
第7回	10月22日（木）	① 諮問第62号照明設備（大潟町中学校屋外テニスコート）の廃止について ② 頸北地区地域協議会委員合同研修会での活動報告について ③ 令和2年度大潟区地域活動支援事業を振り返り
第8回	11月26日（木）	① 諮問第62号の答申文について ② 令和2年度冬期道路交通確保除雪計画について ③ 令和3年度地域活動支援事業大潟区取組方針について
その他	10月24日（土）	① 頸北地区地域協議会合同研修会（柿崎区、吉川区、頸城区、大潟区）
	10月30日（金）	① 大潟区連絡会議（町内会長協議会、まちづくり大潟、大潟区総合事務所）

編集後記

コンピュータという何か大型のもの、イメージはありますが、いまや日常を支えていると言ってもいいと思います。しかし、本当に使いやすいかというスマホやノートパソコンでも不満が残ります。4Kテレビや5Gといった技術の割にソフトウェアの利用がもつひとつです。

プログラミングのカリキュラムが日本では、先進国に遅れてようやく小学校ではじまったばかりです。そして、日本語で使いやすい、高齢者でも簡単につかえるものが増えてきてほしいものです。（細井雅明）

（編集委員） 山岸敏幸・細井雅明
 俵木晴之・君波豊